

# 音楽と私

## わが人生と音楽 船橋シニアアンサンブル 奥村 統 (チェロ)

音楽好きが高じて唄うだけでは満足せず、アンサンブルで種々の楽器にチャレンジし、演奏を楽しんでいます。またその時々素晴らしい師に会い、感動を与えられました。

♪ **幼児期** 姉の弾くピアノ練習曲＝バイエル、ソナチネ一番に魅せられ、音楽に目覚めました。

♪ **小学生** 和音当てが得意で先生に褒められ、鼓笛隊でラッパ・小太鼓を教わり、合奏の楽しさを体験しました。

♪ **中・高校生** 中三で初めて男女共学になり、音大出の先生から楽典を学び合唱・特に女性徒とのデュエットは、楽しく励みました。

♪ **浪人時代** アルバイトでヴァイオリンを購入、小学校の音楽で褒められた先生についてヴァイオリン奏法のイロハから学ぶ。…お陰で第二志望大学にしか入れなかった。

♪ **大学時代** 入学早々管弦楽部に勧誘され入部、部員が少なく室内楽しか演奏出来なかった。オーケストラとしては、後に京都市交響楽団の初代コンサートマスターとなる先生の指揮で旧帝大と合同で『ブランデンブルグ協奏曲』・『四季』を演奏。四回生の時コンサートマスターに選ばれ、コレルリ『クリスマス協奏曲』を得意曲としていました。

一方、仲間と当時流行のハワイアンバンドを結成、サイドギターとボーカルで結構良いアルバイトで稼ぎました。

♪ **社会人** 大阪の本格的なアマチュアオーケストラに入会、第二ヴァイオリンのプルトップとして『運命』、『未完成』など演奏。

転職のため上京、猛烈社員として楽器は封印。



待ちに待った定年を機にヴァイオリンを再開するも、窮屈な姿勢が苦になりチェロに転向。

ヤマハスクールで三年修行の後、先生の個人レッスンを七年受けこの間生徒とチェロの二、三、四、八、六十重奏、桐朋高校女性徒と弦楽四重奏ハイドン『セレナーデ』、『ひばり』、モーツァルト『ディヴェルティメント』を演奏、第一ヴァイオリンのO嬢は現在ハンブルグ州立歌劇団の首席第二ヴァイオリン奏者になっています。

また、元N響コンサートマスターが主催する弦楽クリニックに総勢八十名の一員として参加、チャイコフスキー『弦楽セレナーデ』メンデルスゾーン『弦楽協奏曲第九番』ヴィヴァルディ『四季』、『調和の靈感』を千葉県文化会館に於いて始めて有料で演奏。

別に、八千代市に活動拠点を置く有名な先生について合唱指揮法を師事しています。

紙面の関係で、現在所属の船橋・市川シニアアンサンブル、大網白里弦楽四重奏団、地元コーラスサークルでも素晴らしい師に恵まれ、その活動状況については別の機会に紹介いたします。



宇都宮大会でエレキコントラバスを奏でる奥村さん